

# 水の架け橋

新鮮で安全なおいしい水を、災害時でも安心して受け取れる  
社会の実現と環境問題への貢献を。  
アルミニウムメーカーが考えた、新たな備蓄水のカタチです。

## ●本製品のメリット●

災害時の供給不安を解消

中身を安全に保管

備蓄コストを削減

交換・配布の手間を削減

環境配慮(脱プラ)や循環型社会へ貢献

## 多発する自然災害に備える

水インフラはダメージを受けやすく、生命・生活への影響は甚大です。(水道管の破断、停電での断水等を含む)

被害地域や規模など予測が難しいからこそ、安心・安全・新鮮な水を長期間備蓄し備えることが大切です。

飲料水の備蓄量は、1人あたり1日3Lを目安に3日分(9L)備蓄することが推奨されています。さらに、来社中の取引先や外部の帰宅困難者のために、10%程度余分に備蓄する事を求めている自治体もあります。



## ナチュラルミネラルウォーター Natural Mineral Water

賞味期限：12年

500ml×24本 アルミボトル缶



アルミニウムの素材が持つ「光やガスを透過しない特徴」を活かしたボトル缶です。変質や蒸発を抑えて、出荷時に近い鮮度を保ちます。長期間の保存も得意ですので安心してお飲みいただけます。

- FSSC22000(Food Safety System Certification 22000)を取得したエスエスケイフーズ株式会社焼津工場(静岡県)で製造・充填しています。
- 第三者検査機関により、同様のアルミニウム製ボトル缶を用いて内容物の備蓄水が12年以上問題なく保管されたことを確認済です。
- 賞味期限は製造年月日起算です。お届け日起算ではない点、ご了承ください。

保管環境に関する注意の詳細は、webページをご覧ください。

水の架け橋



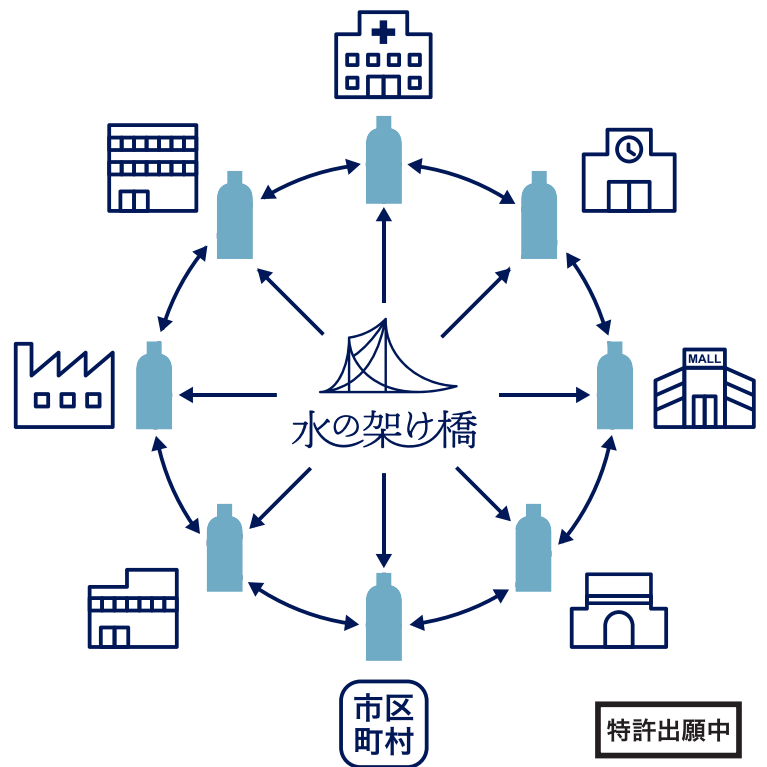
法人企業・市区町村向け

## 供給不安を解消する 〈水の架け橋〉ネットワークシステム

自治体や企業でアルミボトル缶備蓄水を供給し合える独自の「助け合い」ネットワークを提供いたします。

“困ったときはお互いさま”

備蓄水の貸し借りにより「安心感」を提供



## 災害時の供給不安を解消

「水の架け橋」備蓄水をご購入いただいた方は、水の架け橋ネットワークに購入情報と保管場所を登録することで自社の備蓄量、備蓄場所を一元管理できます。

ネットワークに対して備蓄水の支援要請を出すことができます。

支援要請がネットワークに登録された近隣企業様に届きます。

支援要請者と支援可能な拠点をマッチングさせ、両社のみで連絡先を開示します。

2社間で直接コンタクトを取っていただく事でスムーズな物品の受け渡しが可能になります。物品の発送と受領は2社間で直接行っていただきます。

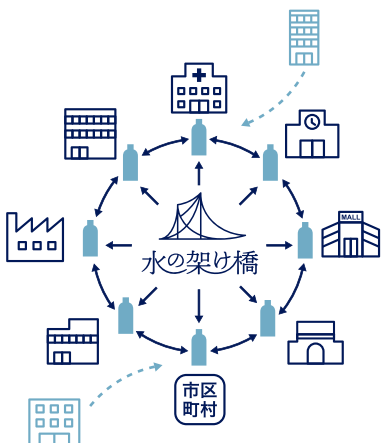
後日(3か月後を目安に)支援者に備蓄水をご購入、返礼していただきます。(任意)  
支援者は、新たに賞味期限12年の水を受け取ることができます。

登録方法は公式HPよりご案内いたします。  
段ボールのQRコードからもアクセスできます。

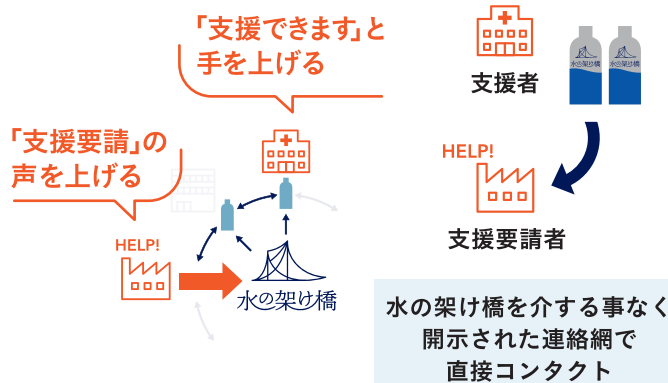
水の架け橋



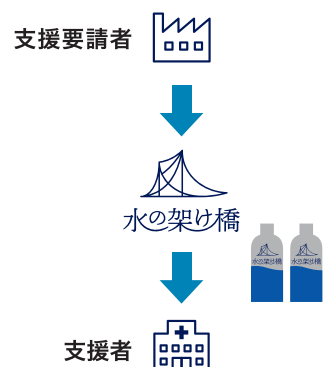
**平時** ネットワークシステムに加入



**災害発生時** ネットワークシステムで支援を要請 & 受諾



**後日** 支援者に支援要請者から缶の水を返礼する(任意)



# アルミボトル缶備蓄水のメリット

## 中身を安全に保管

### 優れた空気遮断性能で、中身を安全に保管

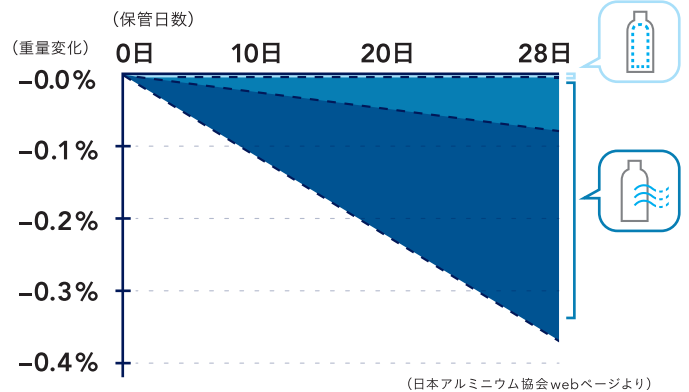
PETボトルなど樹脂製の容器はアルミ缶よりも水蒸気などの気体を通しやすいため、短い期間でも中身の蒸発が進んでしまいます。(右図参照)

一方、アルミニウムは空気を遮断する能力が高い素材です。アルミ缶は水蒸気などの気体や空気、紫外線を通さない特徴を生かして、香りや風味に敏感なビール類やコーヒー類に広く使われています。

この「高いガスバリア性」を活かし、アルミボトル缶は中身の備蓄水を12年もの長い期間、安全・新鮮においしく保つことができます。いつ来るかわからない災害のために、長期に保管しておく備蓄水には欠かせない存在です。

## 未開封の水の重量変化

市販の容器入り飲料水を一定温度で保持する試験



### アルミボトル缶 500ml



アルミボトル缶 (室温)  
アルミボトル缶 (40°C)

アルミ缶は、経過日数ごとの重量変化実験において、温度に関わらず変化がないことが確認されました。

### PETボトル 500ml



PETボトル (室温)  
PETボトル (40°C)

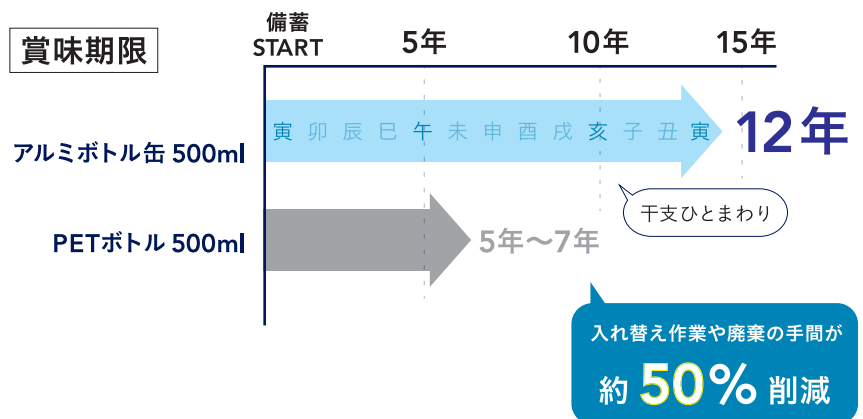
水蒸気や空気はPETボトルをわずかに通過します。温度が高いほどその透過量は多くなります。

## 備蓄コストを削減 交換・配布の手間を削減

### 「12年」の長い賞味期限

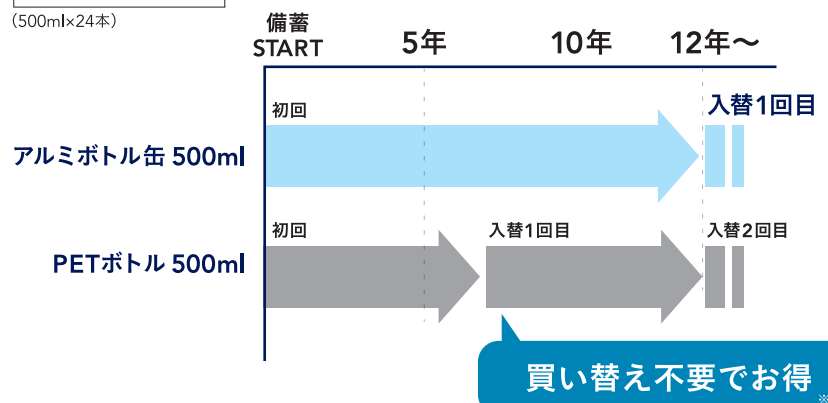
賞味期限が12年と長いので入替作業を減らし、管理の手間を省けます。

## 一般的なPETボトル備蓄水との、賞味期限とコストの比較



### トータルコスト

(500ml×24本)



※ 現状購入額や処分方法によって異なります。

# アルミボトル缶備蓄水のメリット

## 環境配慮(脱プラ)や循環型社会へ貢献

### 環境問題への配慮 SDGsへの貢献

気候変動問題や、海洋プラスチックごみの問題の削減へ貢献します。



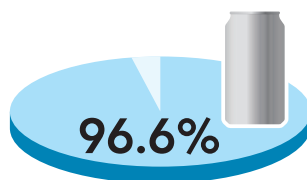
清涼飲料のPETボトルは、再びPETボトルへ再生させるリサイクルの取り組みが始まっています。

しかしまだ多くは熱利用のために焼却されたり、別製品へリサイクル(ダウンサイクル)された後に最終的に焼却されており、結果的に気候変動の原因であるCO2を排出してしまいます。また、河川や海洋に流れ出てしまったPETボトルやプラスチックは、やがて細かく砕けてマイクロプラスチックとなり、生態系への影響が指摘されています。

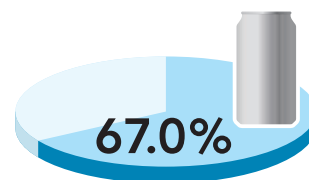
一方、資源価値の高いアルミ缶は回収の仕組みが確立しており、リサイクル率は90%以上。

アルミ缶は、何度もアルミ缶へ生まれ変わっています。

2021年度のアルミ缶リサイクル率



2021年度のCAN to CAN率



「アルミ缶リサイクル協会」調べ

### 500mlボトルのちょうどよさ

本製品には、お子様や力の弱い方も持ち運びできる500mlサイズを採用しました。大きな飲み口ですので、飲みやすく、そそぎやすいタイプです。キャップは、リシール可能な蓋を採用しました。

### 開けやすいキャップを目指して

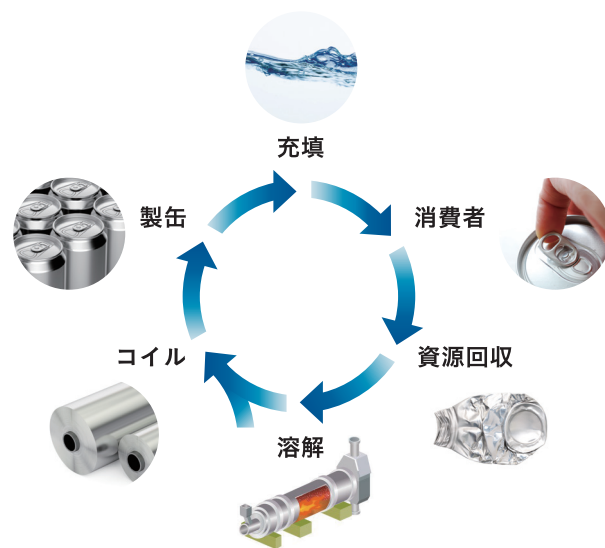


「開けやすさ」と「密封性」を両立したアルテミラ缶株式会社(旧 ユニバーサル製缶株式会社)の新型キャップを採用しました。力の弱い方でも「開けやすいキャップ」を目指しました。

### 缶は再び缶へ生まれ変わります



飲用後、PETボトルは本体からラベルとキャップを分別する必要があります。(自治体によりルールが異なります)一方、アルミ缶は缶とキャップをそのまま分別せずに資源に出すことができます。



問い合わせ先:

株式会社UACJ

住所: 東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル

担当: 黒田 英敬(くろだ ひでゆき)

野瀬 健二(のせ けんじ)

sales\_mizuno-kakehashi@ml.uacj.co.jp